

# DECISION

Protest

Request No.: 04

Heard Jointly With Number(s): 10

Event: 第90回 関東学生ヨット選手権大会決勝 / 90th Kanto Intercollegiate Sailing Championship Final Race Number: 1  
Hearing Schedule: 2023-09-29 17:00

## PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 04: 470 - 35 - 立教大学 4563 - 4563 - 前田海羽 福田桃奈

470 - 6 - 東京工業大学 4631 - 4631 - 金谷駿太郎 芳賀勝大

Request No.: 10: 470 - 35 - 立教大学 4563 - 4563 - 前田海羽 福田桃奈

470 - 6 - 東京工業大学 4631 - 4631 - 金谷駿太郎 芳賀勝大

## VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Within Time Limit

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** Protest hailed

**Red Flag Displayed:** Yes

**Decision:** Request Valid

## PROCEDURAL MATTERS

### FACTS FOUND

風速は6ノットであった。

艇35は、クローズホールドのスターボードで第4レグを上マークに向かって帆走しており、艇6はランニングのスターボードタックで第3レグを下マークに向かって帆走していた。

両艇はオーバーラップしており、艇35が風下艇、艇6が風上艇であった。

両艇はそのまま進むと艇35のバウが艇6のポートのハル中腹に接触するコースにあった。

両艇のそのまま帆走し、距離が30cmとなった時、艇35はラフした。

その直後、艇6のポート側のスターンガンネルと艇35のバウが接触し、艇35のバウのハルに穴が空いた。艇6に損傷はなかった。

艇6はその後、2回転ペナルティーを履行した。

艇35の損傷は帆走性能に影響はなく、両艇はそのままレースを帆走した。

**Diagram:** Diagram not endorsed

### CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

**Rules:** RRS11, RRS44.1(b), RRS62.1(b)

風上艇6は風下艇35を避けておらず規則11に違反したが艇35の損傷は重大な損傷ではなかったため、艇6は適切なペナルティーを履行した。

艇35は物理的損傷を受け、得点が悪くなった可能性があるため、規則62.1(b)に基づく救済の要件を満たしている。

### DECISION

Date & Time: 2023-09-29 18:00 JST

第1レースにおいて艇35に救済を与える。

但し得点は第1下マーク回航順位よりもフィニッシュ順位の方が良いためフィニッシュ順位に基づく得点とする。

### PROTEST COMMITTEE

**Committee Type:** Protest Committee

**Chaired By:** Kikuji Nakajima (JPN)

**Committee Members:** Motoyuki Asada (JPN), Hideaki Saito (JPN)